



発行所

株式会社 建設新聞社
〒849-0301
小城市牛津町乙柳1145-7
TEL 0952-66-5750 (代)
FAX 0952-66-5751
購読料 月額5,775円(税込)
毎週火・木・土曜日発行
社団法人日本専門新聞協会会員
ホームページ
http://www.kensetsunews.co.jp
e-mailアドレス
kssaga@lime.ocn.ne.jp

建設トップランナー フォーラム

唐津市で2月10日開催

建設業の農林業や環境分野など新分野への進出を支援する建設トップランナーフォーラム(和田章代表幹事)の分科会が2月10日、佐賀県唐津市の文化体育館で開催される。テーマは「産学官連携による地域振興―地方における地場建設業と大学の役割―」で、九州では初の開催となる。参加費無料。

成る地方建設記者の会も情報発信等で支援する。同フォーラムは2008年7月に東京で初開催、昨年3回目を開いた。分科会は毎年2、3回、地方で開催しているが、産学官連携のテーマは初めて。

当日は、主催者として和田章・東京工業大学建築物理センター教授が、来賓として古川康佐賀県知事があいさつする。引き続き、▽佐賀大学低平地研究センター長の荒木宏之教授「イノベーション創出と産学官連携の課題」▽北見工業大学地域共同研究センターの有田敏彦准教授「産業クラスター・産学連携による工



米田雅子氏

産学官の連携テーマに

学的農業者人材育成から新規産業創出へ▽▽(株)舟山組(北海道北見市)の舟山秀太郎社長「建設業から農業へ、農商工連携で麻栽培」の基調報告を行う。

その後、同フォーラム顧問の米田雅子・慶応大学理工学部教授をコーディネーターにパネルディスカッションが行われる。パネリストは、経済産業省産業技術環境局大学連携推進課の谷明人課長、長崎

空き瓶などのガラス廃材をリサイクルした発泡廃ガラス材「ミラクル」を緑化や水質浄化など環境分野に活用している日本建設技術の原社長は、佐賀大理工学部大学院にて工学博士学位を取得。自社の研究所での研究開発と佐賀大学との連携、経営力で実績を積んでいる。

原社長は「民間企業が研究開発し、足りない所を大学から教えてもらう。開発した新技術、新工法を官の支援で普及させていくのが理想。ガラス廃材のリサイクル建設活用は、当社が日本で最初に行った。地元唐津の開催で、建設業界がどれくらい興味を持ってくれるか楽しみ」と話している。

当日の開催時間は、午後1時30分～5時。終了後、懇親会・名刺交換会を開催予定。このフォーラムの問い合わせ・申し込みは、日本建設技術(株)TEL 0955・64・2879、FAX 0955・64・4255/牛原主任まで。